



愛知県はトヨタやデンソーなど県内選手の合同公開練習会を開いた

伝統背負つて  
県内の自動車関連メーカーでは技能伝承への取り組みも活発だ。11月28日(一部競技は先行開始)には若き技能者が日本を競う「第52回技能五輪全国大会」が愛知県で開幕する。10種目に42人の選手が手を送り込む。若き選手たちは個人の技能はもちろん会社の技術力や伝統、威信や期待などさまざまなものを持ち背負って大会に臨む。

今回の技能五輪全国大会は、11月21日から23日にかけて開催された。第35回全国障害者技能競技大会(全国アーリンピック)とともに「技能五輪・アーリンピック」は、13年ぶりに愛知県で開催される。大会スローガンは競技が高まる中、大会が10人、大会ではデンソーとつながれ!コ

輪でも女性の活躍を後押しする。

## 愛知県で23年ぶり開催

### 若き匠技能五輪出場

伝統背負つて

県内の自動車関連メーカーでは技能伝承への取り組みも活発だ。11月28日(一部競技は先行開始)には若き技能者が日本を競う「第52回技能五輪全国大会」が愛知県で開幕する。10種目に42人の選手が手を送り込む。若き選手たちは個人の技能はもちろん会社の技術力や伝統、威信や期待などさまざまなものを持ち背負って大会に臨む。

市14会場で熱戦が繰り広げられる。全国から1200人の選手が参加し、名古屋市や刈谷市など愛知県内の8会場を除く。出場選手は、デニンスーが31人、豊田自動織機が15人、アイシング精機が12人、ジェイテックが10人、トヨタ紡織が9人など。

大会スローガンは競技が高まる中、大会が10人、大会ではデンソーとつながれ!コ

輪でも女性の活躍を後押しする。

大会スローガンは競技が高まる中、大会が10人、大会ではデンソーとつながれ!コ

# 海外工場建設に意欲



大同メタル工業はエンジン用軸受の増産に向けて設備投資を積極化

メキシコに新設

農田合成はメキシコに新工場を建設し、2016年4月をめどに生産を始める

世界全体でみると自動車市場は拡大傾向にある。消費増税後日本や政情不安のタイなど苦戦する地域もある一方で、北米市場は好調だ。自動車部品各社は事業成長に向けて国内外に新工場を整備してきた。既存の生産拠点を充実させる段階の会社も多いが、新工場を建設する意欲は衰えていない。

### 高水準の設備投資継続

#### 自動車部品

などで事業拡大を狙い、17年度の3年間に合計350億円規模の設備投資を実施する。12年度から続く年間100億円程度の高水準な設備投資を継続し、17年度に同軸受の世界シェア40%(現状は約31%)を達成する予定する。判治誠吾会長

ドでの新工場稼働などを計画する。15年度からはインダストリアルボックスやコンソールボックスなどの生産する。メキシコの自動車エンジン用軸受

の自動車部品

の新工場を稼働する

協和工業(愛知県大府市)は建設を延期していた

「テントをつくるなどしてのいでのいた」(鬼頭佑治社長)。建設工事の落着きや受注増を防ぐ。メイドー(愛知県豊田市)は15年4月をめどに稼働する。

国内での工場建設案件もある。アイシング・エイ・ダブリュ(アイシンAW)とトヨタ自動車が出資する

新工場の投資額は約80億円。年产能力は60万台

トヨタ用金属ベルトの生産を16年12月に始める。

新工場の投資額は約80億円。年产能力は60万台

</